



平成30年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 喜一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦

TEL 03-6661-7840

四半期報告書提出予定日 平成30年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	8,968	2.6	249	16.4	261	17.3	148	4.0
29年9月期第2四半期	8,744	11.1	214	51.6	223	46.1	142	55.6

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 178百万円 (3.0%) 29年9月期第2四半期 173百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	29.42	29.15
29年9月期第2四半期	28.28	28.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	7,354	2,842	38.6
29年9月期	6,675	2,715	40.7

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 2,842百万円 29年9月期 2,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		10.00	10.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,477	3.4	283	7.9	300	3.0	174	14.8	34.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	5,285,600 株	29年9月期	5,285,600 株
期末自己株式数	30年9月期2Q	240,865 株	29年9月期	240,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	5,044,735 株	29年9月期2Q	5,044,735 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式(平成30年9月期2Q 155,500株)が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(平成30年9月期2Q 155,500株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したのから変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が持ち直していることや、企業業績の改善傾向と相まって景気の回復は持続しています。

先行きについては、賃上げ率が前年を上回る見通しや、底固い設備投資により景気回復基調は継続することが予想されます。しかしながら、一方で海外経済の不確実性及び金融資本市場の変動の影響、地政学的リスクに留意する必要があります。

当社グループの主要顧客であるホテルにおいては、訪日外客の増加等の影響もあり、東京・大阪を中心として高稼働が続いています。また商業施設においても訪日外客の増加、「プチ贅沢」等を背景としてほぼ前期並みの売上が見込まれています。金融機関においては、収支の改善を目指して、メガバンクを中心とした構造改革の動きが顕著となっています。高齢者福祉施設においては施設の増加、M&Aによる業界上位企業の増収傾向が続いています。

このような環境下にあつて当社グループは、中期経営計画に掲げる施策を段階的に実行に移しつつ、売上の拡大と計画的な費用の執行に努めたことで、増収・増益という結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は8,968百万円（前年同期比2.6%増）、連結営業利益は249百万円（前年同期比16.4%増）、連結経常利益は261百万円（前年同期比17.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は148百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の業況は以下のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業であり、株式会社セントラルサービスシステム(C S S)が独立してひとつのセグメントを構成します。

当第2四半期連結累計期間においては、主要顧客であるホテルの高稼働に伴う臨時業務の増加、適正価格での契約更改の進捗等により既存事業所の売上が拡大したことに加え、3件の新規受注により売上は前年を上回りました。費用面においては、売上増に伴い人件費が上昇したことや、新規受注に伴う開業費用等が加算されたことで利益については前年実績には及びませんでした。

この結果、売上高は3,439百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は151百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂及びレストラン運営の受託を展開する株式会社センダン(S D N)と食材販売及び受託給食を展開するヤマト食品株式会社(Y M T)からなり、フードサービス事業としてひとつのセグメントを構成いたします。

当第2四半期連結累計期間においては、セグメント全体で売上については計画を達成したものの、失注等の影響もあり前年を下回ることとなりました。営業面ではセグメントとして高齢者福祉事業者の展示会に出展し、新規顧客の開拓に努めました。費用面においては、食材の高騰や原価コントロールの改善に時間を要したことから原価率が計画より高位で推移したことに加え、人件費の一部が固定費化したことで前年以上の損失を計上することとなりました。

この結果、売上高は2,570百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失は53百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

③ 空間プロデュース事業

当事業は、東洋メディアリンクス株式会社(T M L)、音響特機株式会社(O T K)からなり、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・販売・施工・管理・メンテナンスまでを全て可能とする空間プロデュース事業として、ひとつのセグメントを構成いたします。

当第2四半期連結累計期間においては、主要顧客の年度末を控えた時期でもあり、大型件名を中心として売上が確定したことや、幅広い客層への納品が進んだことで前年以上の売上となりました。費用面においては、利益率の高い件名の割合が増加したことで粗利が確保できたことに加え、販売管理費の効率的執行ができたことから利益についても前年を大きく上回ることとなりました。

この結果、売上高は2,945百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は134百万円（前年同期比400.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べて679百万円増加し、7,354百万円となりました。資産の増減の内訳は流動資産が571百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金119百万円の増加、受取手形及び売掛金510百万円の増加によるものであります。固定資産については107百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産58百万円の増加、投資有価証券45百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて552百万円増加し、4,512百万円となりました。負債の増減の内訳は流動負債が608百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金296百万円の増加、短期借入金200百万円の増加、未払金106百万円の増加によるものであります。固定負債については56百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金95百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて126百万円増加し、2,842百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益148百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当52百万円による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より119百万円増加し、1,207百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が261百万円となり、売上債権の増加510百万円、仕入債務の増加296百万円などがあり、得られた資金は118百万円（前年同期は163百万円の取得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産22百万円の取得による支出、無形固定資産14百万円の取得による支出等により、使用した資金は49百万円（前年同期は67百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金200百万円の増加、長期借入金119百万円の返済による支出、配当金の支払い52百万円等により、得られた資金は50百万円（前年同期は289百万円の使用）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したのから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,088,039	1,207,550
受取手形及び売掛金	1,931,355	2,441,579
商品及び製品	372,986	376,264
仕掛品	26,186	38,432
原材料及び貯蔵品	38,274	31,181
繰延税金資産	88,962	86,411
その他	169,550	104,328
貸倒引当金	△4,260	△3,546
流動資産合計	3,711,093	4,282,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,010,668	1,084,120
減価償却累計額	△527,387	△543,042
建物及び構築物(純額)	483,281	541,078
土地	1,233,838	1,233,838
その他	169,142	177,812
減価償却累計額	△124,724	△132,981
その他(純額)	44,417	44,831
有形固定資産合計	1,761,538	1,819,748
無形固定資産		
のれん	112,711	104,456
その他	93,576	101,978
無形固定資産合計	206,287	206,434
投資その他の資産		
投資有価証券	612,930	658,903
その他	383,257	386,893
投資その他の資産合計	996,188	1,045,797
固定資産合計	2,964,013	3,071,980
資産合計	6,675,107	7,354,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,103	864,489
短期借入金	650,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	221,290	197,280
未払金	739,828	846,068
未払法人税等	26,968	82,863
賞与引当金	150,653	118,800
その他	392,695	398,516
流動負債合計	2,749,540	3,358,017
固定負債		
長期借入金	865,000	770,000
繰延税金負債	4,961	8,196
退職給付に係る負債	263,567	274,654
株式給付引当金	16,214	16,214
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	9,319	9,415
その他	28,766	53,073
固定負債合計	1,210,374	1,154,099
負債合計	3,959,914	4,512,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	2,017,628	2,114,046
自己株式	△99,799	△99,799
株主資本合計	2,590,698	2,687,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,494	154,948
その他の包括利益累計額合計	124,494	154,948
純資産合計	2,715,192	2,842,065
負債純資産合計	6,675,107	7,354,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	8,744,077	8,968,278
売上原価	7,203,938	7,356,457
売上総利益	1,540,139	1,611,820
販売費及び一般管理費	1,325,373	1,361,924
営業利益	214,765	249,896
営業外収益		
受取利息	612	708
受取配当金	3,700	4,138
受取賃貸料	8,870	9,443
投資事業組合運用益	1,312	—
為替差益	—	1,768
その他	17,846	13,445
営業外収益合計	32,342	29,504
営業外費用		
支払利息	17,266	14,797
支払手数料	1,599	1,551
為替差損	3,582	—
その他	1,380	1,158
営業外費用合計	23,829	17,507
経常利益	223,279	261,893
特別利益		
有形固定資産売却益	1,398	45
特別利益合計	1,398	45
特別損失		
固定資産除却損	—	57
特別損失合計	—	57
税金等調整前四半期純利益	224,678	261,881
法人税、住民税及び事業税	51,578	114,896
法人税等調整額	30,423	△1,434
法人税等合計	82,002	113,461
四半期純利益	142,675	148,419
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,675	148,419

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	142,675	148,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,950	30,454
その他の包括利益合計	30,950	30,454
四半期包括利益	173,626	178,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,626	178,874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	224,678	261,881
減価償却費	31,454	39,316
のれん償却額	7,995	8,254
持分法による投資損益(△は益)	△2,900	△891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,297	△714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,754	11,087
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59,268	△31,853
受取利息及び受取配当金	△4,313	△4,847
支払利息	17,266	14,797
売上債権の増減額(△は増加)	△219,632	△510,224
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,270	△8,430
仕入債務の増減額(△は減少)	258,530	296,385
未払金の増減額(△は減少)	45,588	44,192
未払又は未収消費税等の増減額	62,898	4,123
その他	△20,651	△3,374
小計	359,373	119,703
利息及び配当金の受取額	6,945	9,015
利息の支払額	△16,652	△14,668
法人税等の支払額	△186,274	△57,090
法人税等の還付額	—	61,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,392	118,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△63,550	△2,997
投資有価証券の売却による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△35,648	△22,799
有形固定資産の売却による収入	5,611	50
無形固定資産の取得による支出	△21,980	△14,267
保険積立金の解約による収入	7,486	—
投資不動産の賃貸による収入	4,140	4,140
その他	△14,042	△13,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,984	△49,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△130,340	△119,010
配当金の支払額	△51,774	△52,089
セール・アンド・リースバックによる収入	—	30,500
その他	△7,044	△8,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,159	50,707
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△193,751	119,510
現金及び現金同等物の期首残高	1,298,250	1,088,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,104,498	1,207,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,328,808	2,598,207	2,801,503	8,728,519	15,558	8,744,077	—	8,744,077
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	600	846	6,796	8,243	138,916	147,159	△147,159	—
計	3,329,408	2,599,054	2,808,299	8,736,762	154,474	8,891,237	△147,159	8,744,077
セグメント利益 又は損失(△)	171,558	△12,224	26,960	186,294	15,496	201,790	12,975	214,765

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額12,975千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,438,805	2,569,917	2,942,306	8,951,029	17,249	8,968,278	—	8,968,278
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	600	115	3,003	3,719	145,506	149,225	△149,225	—
計	3,439,405	2,570,032	2,945,310	8,954,748	162,755	9,117,503	△149,225	8,968,278
セグメント利益 又は損失(△)	151,856	△53,030	134,956	233,782	14,929	248,711	1,185	249,896

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額1,185千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。

これにより、従来、「スチュワード管理事業」としていたセグメント区分を「スチュワード事業」へ、「総合給食事業」及び「食材販売事業」を「フードサービス事業」へ、さらに、「音響・放送機器等販売事業」及び「映像・音響機器等販売施工事業」を「空間プロデュース事業」へと変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益又は損失を当年度の表示に合わせて組替再表示しております。